

研修名	専門課程 道路交通安全〔事故対策コース〕 【集合】 (平成 19～22 年度：「道路交通安全」)					
目的・ 重点事項	<p>道路交通安全対策に関する総合的な知識の修得を通じた、科学的分析に基づく効果的・効率的な交通事故対策の立案能力の向上を図ることを目的とする。</p> <p>以下の点を重点項目とする。</p> <p>① 道路交通安全施策の方向性を理解するとともに、科学的な事故分析、対策立案のスキルの修得</p> <p>② 車両運転者の特性、自動車の安全対策等、幅広い視野からの道路交通安全対策の取組についての理解</p> <p>③ 課題研究による事故多発箇所における交通事故対策の立案能力の向上</p> <p>課題研究において、道路管理者及び都道府県警察の職員が協働して、相互の視点を組み合わせて課題を検討することが好評である。</p> <p>※道路交通安全の担当者は、事故対策及び歩行者・自転車対策双方の視点が必要となることが多いため、「歩行者・自転車コース」と併せて受講することが望ましいが、それが困難な事情がある場合には、一方のみの受講も可とする。</p>					
対象者	<p>国土交通省、内閣府沖縄総合事務局、都道府県（警察関係を含む）、政令指定都市、特別区、市、独立行政法人等の職員で、道路における交通安全対策に関する業務（交通規制業務を含む）を担当し、次のいずれかに該当する者</p> <p>① 係長、専門官、専門員又はこれと同等の職にあると認められる者</p> <p>② ①の者と同程度の能力を有すると認められる者</p>					
定員(人)	国土交通省	内閣府沖縄 総合事務局	地方公共団体	独立行政法人等	団体	計
	16	1	23	1		41
研修期間	32.5時間 5日間			令和5年 8月28日(月)～ 令和5年 9月 1日(金)		
カリキュラム内容 (予定時間)	<p>1. 講義(15.5)</p> <p>① 道路交通安全対策について、道路構造と交通安全(3.5)</p> <p>② 交通警察の課題、交通事故対策の立案・評価と今後の技術開発、事故対策の計画と設計、道路利用者の交通事故の特性、生活道路の事故対策等(12.0)</p> <p>2. 課題研究(11.5) (昨年度：幹線道路の事故多発箇所における交通事故対策の立案(事例研究))</p> <p>3. 現場見学(3.5) (昨年度：生活道路の交通安全対策実施箇所(埼玉県朝霞市))</p> <p>4. その他(2.0) 入校式、修了式、オリエンテーション、ガイダンス</p> <p style="text-align: right;">計 32.5</p>					
前年度からの 主な変更点	・定員増(40人→41人)					
担 当	建設部 建設技術研修分析官 (TEL: 042-321-0645)					
備 考	テキスト代(予定)23,000円 現場実習費(移動交通費)(予定)1,500円					